

# 全国連盟第 34 期第 1 回評議会に参加して

安彦 秀夫（東葛山の会）

日時：2021年2月20日（土）12：00～21日（日）12：00（1泊2日）

場所：ホテルコンチネンタル府中（東京都府中市）

評議員：出席17名、Web参加13名、委任状19名、欠席5名（定数54名）

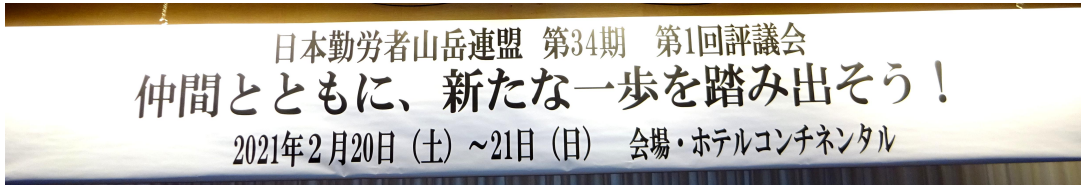
全国役員：会長、副会長、監事、事務局、専門委員、理事長、副理事長、理事など

千葉県連参加者（3名・敬称略）：全国連盟理事（山本尚徳、石川昌）、

評議員（安彦秀夫）

新型コロナウイルス感染で首都圏に2度目の『緊急事態宣言』が発出・延長され、不要不急の外出規制のある中、一抹の不安を抱えながらマスク着用で参加しました。1年前の総会とは打って変わって、参加者全員がマスク着用でした。当然ですね！また、コロナ禍ということで、遠くの地方連盟からは、Web参加が多かったです。

議案書に盛り込まれた多くのテーマに対して活発な質問や意見・提案、そして各地方連盟からの活動報告などが2日間に亘りありました。Web参加者もいるということで、カメラに写る位置にある演台に出て発言するという新しい試みでした。



## 日本勤労者山岳連盟 第34期 第1回評議会 仲間とともに、新たな一歩を踏み出そう！ 2021年2月20日（土）～21日（日） 会場・ホテルコンチネンタル

次の3点に絞って報告します（順不動）。

- ① 女性委員会委員長退任要求（2019年12月）に関して多数の意見応酬あり  
→退任要求を規約違反と片付けて欲しくない  
→退任要求に関して、きちんと総括してほしい  
→女性委員長が活動を進める上での信条は何かなどに付いて問われ発言あり  
→具体的な方向性が示されずに、議案書より経緯部分が削除された
- ② 機関誌としての登山時報の購読数激減対策について意見続出  
→無償化して全会員に配布してほしい。そのために、カラー写真を厳選し、ページ数を減らし、会員の関心の強い特集を組んだりしてほしい  
→会に送付されても配布できないので、購読者に直送してもらいたい  
→PDFをホームページに掲載してほしい  
→紙媒体と電子媒体の2本立てであれば、購読者は更に減少するのでは？
- ③ 各地方連盟の活動状況が、南から北の順で報告されました。  
→東日本大震災被害や熊本豪雨被害等に対する支援御礼、  
→自然破壊（原発再稼働、大型風力発電開発、リニア新幹線工事など）に対して地方連盟挙げて取り組んでいる  
→コロナ禍で困窮している山小屋支援の取り組みをした

- Web や SNS、インスタグラムなどでの会紹介が会員拡大には有効のようだ
- 山の楽しさを訴える会が会員を増やしている
- 2020 年はコロナ禍で計画した行事の大半が中止になった（多くの連盟より）
- 労山基金の『個人賠償プラン』を是非とも設定してほしい

2 日目にも各地方連盟からの報告や発言があった後、浦添理事長から討議の纏めとしての報告があり、提案された次の議案 4 件は、全て承認されました。

- ① **第 1 号議案:第 34 期上期(2020 年)活動総括と第 34 期下期(2021 年)活動方針**  
 (女性と登山の項で、女性委員会委員長退任に関するの経緯部分 13 行削除)  
 ⇒ <挙手採択 (Web 含む): 保留 3、反対 1、賛成 24>で承認
  - ② **第 2 号議案:第 34 期上期(2020 年)決算と第 34 期下期(2021 年)予算**  
 (労山基金第 2 種基金の個人・団体・合計寄付金、交付金額・交付率等訂正)  
 ⇒ <挙手採択 (Web 含む): 保留 0、反対 0、賛成 29>で承認
  - ③ **第 3 号議案:労山事故対策基金規定の一部改訂(第一種基金の廃止)**  
 (廃止の背景: 58 団体が加入しているが、公的救助の拡大で 10 年以上利用なし)  
 ⇒ <挙手採択 (Web 含む): 保留 0、反対 0、賛成 30>で承認
  - ④ **第 4 号議案:日本勤労者山岳連盟の不動産管理のための一般財団法人設立**  
 (労山のような団体でも法人格を比較的手軽に取得できるようになり、新たに法人を立ち上げ、所有する不動産『全国事務所の土地・建物』の登記を実施)  
 ⇒ <挙手採択 (Web 含む): 保留 0、反対 0、賛成 30>で承認
- <注>合計票数が異なるのは、採決時に Web 参加者が一時退席したためです。



新特別基金制度の『無事故報奨金』の表彰・授与が行われました。対象団体は『131 会』のようですが、一覧表が配布されず、千葉県連関連については不明です。

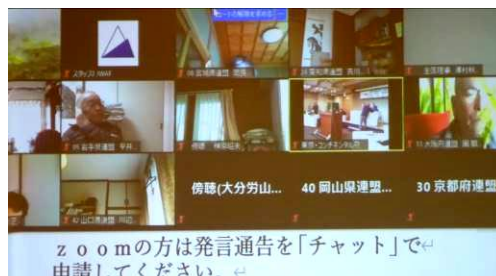
最後に、『平和な世界、安心できる登山を実現するために核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准することを求める決議』を朗読し、拍手で承認されました。

全議案を可決・承認して評議会は無事終了となり、Web 参加者も加えて、全員マス

ク姿での集合写真を撮り散会となりました。

総会とは別に、『関東ブロック打合せ』が行われ、『2021年行事任務分担』などについて話し合われました。『自然保護交流集会』の昨年の担当は千葉県連でしたが、コロナ禍で中止になりましたので、今年も担当となります。自然保護委員会が中心になり企画運営をお願いします。(連絡不徹底で私は参加できず、評議会終了後に佐々木功会長と個別に話しました。)

私は、『登山時報』の購読数が減少傾向にあり、かなりの予算を毎年計上していることに関していくつかの意見を述べました。



- ① 労山の機関紙であるならば、会員全員に無償配布するべきではないか。それを実現するために、掲載カラー写真を厳選し、ページ数を少なくし、会員の要望する特集などを企画し、全国連盟と会員の情報交換をするページを多くするなどの工夫をするべきではないでしょうか？
- ② 紙媒体を止め、全国連盟のホームページに掲載するのみでも良いのではないのでしょうか？(現在、2~3ヶ月遅れでホームページに掲載されています)
- ③ 全国から各会に纏めて送付されても、例会などが開かれないことも多く、購読者へのタイムリーな配布が難しい状況が続いています。購読者個人へ直接送付を検討してみてもいかがでしょうか？

更に、**千葉県連盟からの活動報告**として、主に次のことを報告しました。

- ① コロナ禍で計画した県連行事・集会は、殆ど中止せざるを得ませんでした。その中で唯一『事故防止経験交流集会』を開催し、事故事例報告、コロナ禍の登山スタイル提案、高所登山の心構えなどに付いて意見交換をしました。
- ② 自然保護活動に関連して、千葉県は四方を海や河川に囲まれており、『海岸や河川・湖沼のプラスチックごみ問題』も山のごみ以上に真剣に取り組んでいく必要がある…ということで、海岸線や湖沼のクリーンハイクを計画しましたが、コロナ禍で実施できませんでした。今後、是非とも自治体と協力して取り組みたい。
- ③ コロナ禍で県連役員や各会の代議員が一堂に集まっての定期総会を開催する事ができないため、メールでの質疑応答そして採択を行いました。

隔年開催の県連役員・理事と各会代表者の『合同会議』も、『定期総会』の際に行った方法と同様に実施しているところです。

#### 【感想】

コロナ禍で、夕食と朝食は、『マスクをし、使い捨て手袋を付けて料理を取り分け、テーブルは全てはす向かいに座り、静かに食べる…』というビュッフェでした。

従って、他の地方連盟の参加者との談笑も殆どなく、折角の機会なのに情報交換が充分にできなかったことが心残りでした。(2021/2/25/Thu.)